南部小母親委員会だより

ぽっかぽか

H.18.12月

NO.2

夏休み作業 図書の本整理

ご協力ありがとうございました！

仕事は大きくわけて二つでした。一つは廃棄する本の一覧表作りとその本をまとめること。もう一つはバーコードのラベルシールはりでした。

廃棄される本の中には私の年齢に近いくらいの本もたくさんあり、長い間、南部小の子供たちのために働いてくれたんだなあと感謝の気持ちになりました。

ラベルシールはりは二～三人組で進められ、終わりが見えないくらい膨大な量の本でしたが、何とか無事終了。

バーコードシステムになり貸し出しが増えているということでたいへんうれしく思っています。

大竹

夏休みの3日間、お手伝いに行きました。とても暑く首にタオルをまき、汗だらだらでした。山のような廃棄の本のデータ作り。題名等をパソコンに入力し、ローアでまとめる作業でした。なれない入力でした様、みんなで「この本私が子供の頃借りたことがある。」とか「こんな本あったんだわ。」などとなつかしく感じる本などもあり楽しく作業できました。

子供が借りてくる本を見て「これ、お母さんがテープはったんだ。」とか「こんな本入ったんだわ。」などと話ができて、子供がかりてくる本も楽しみにしています。

これからも子供達が楽しく本が読めればいいなあと思います。

由貴

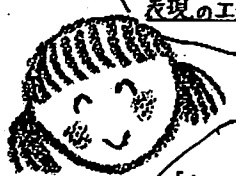
みなみおはなしかご体験記

母親委員から5名「みなみおはなしかご」に見学・参加しました。今回は、佐藤・宇井の感想を載せてみました。

今年何回か子供達と一緒に「みなみおはなしかご」さんの読み聞かせを体験させてもらいました。低学年のクラスで最初は、さわついたり、こぜりあいがあったのですが、話が始まるとどの子も真剣に聞いている姿に、びっくりしました。

お話しかごさんでは、読み手の方が本をさがして読んでくださるので、その方々で、いろんなタイプの違った本が、読み手の方の声の出しかや表現の工夫で、とても楽しい時間になります。ぜひ、聞きに来て下さい。

Sato



「よみ聞かせ」というと気にできるのかな？と不安な気持ちもありましたが、「自分の子供に読むような気持ちで」とアドバイスをいただき参加しました。子供達は毎回楽しみに待っていてくれて、読んだ本に対していろいろ反応してくれたり、短い時間ではありますが楽しい時間をすごす事ができます。どんな本を読もうか悩む事もありますが、これを読もうと思うけど、どう？と自分の子供に聞いてもらったりと、子供との会話も増えたような気がします。おはなしかごの日は、ぜひ「どんな本だった？」と聞いてみて下さい。きっといろいろ話が広がると思います。

UI

市PTA連合母親委員会研修会に参加して

身も心も健やかに育ち、社会で活躍できる成長のために

～小児科医の視点から～ 山形県立中央病院小児科 渡辺眞史先生

を講師にお迎えして11月11日(土) PM7～9:00 ハートフルセンターにて上記の演題で研修会が行われました。ピックアップして報告いたします。

子どもにとっての健康とは、身体・心・社会性の三つの健康がそろってはじめて成立つ。

- 身体の健康 … 早寝・早起・朝食の大切さ、喫煙、テレビゲームの悪影響（ゲームが上達するほど前頭前野の機能が低下しキレる、無気力などの支障をきたす。）
- 心の健康 … 甘えることの大切さ（母親に甘えて愛情を実感し、外へ向かえる）甘やかしはいけない。（「○○買ってあげるから。」）
- 社会性の健康 … できないことを怒るより、いけないことをしかる。

子どもの行動の問題 → 親の自分に返してみる。